



たかぎ るい
高木 瑠偉さん

● 赤見中3年

サッカー選手を夢見て

ぼくは将来、プロのサッカー選手になりたいと考えています。

Jリーガーとなって、数年間日本国内で経験を積み、できれば海外へと進出してプレイしたいです。そして日本代表選手となって、オリンピックなどで活躍できればと考えています。

この夢は大きすぎて、不安な面もありますが、夢をあきらめずに努力することこそ大切だと思っています。また、物事を広い視野でとらえ、寛容な心をもった人間になりたいです。今はそのために、学習やサッカーの練習に打ち込む毎日です。

みんなの広場に 出してみませんか？

「すてきな仲間たち」「めおと人生」に登場していただける方を募集しています。自薦・他薦は問いません。
※「すてきな仲間たち」「めおと人生」は隔月で掲載します

■問合せ

政策調整課広報広聴係
☎(20)3037

◎ **Q** 今後の抱負は
◎ これまで米やブドウを育ててきましたが、今後は養蜂に挑戦します。取り組みたいことはたくさんありますが、これからは特に、ほかの地域

◎ **Q** 夫婦円満の秘訣は
◎ 自分だけが正しいと思わず、お互いを認めることです。

◎ **Q** 結婚何年目ですか
◎ 昭和38年に結婚し、今年で49年目です。
◎ **Q** これまでで印象に残っている出来事は
◎ 夢中で勤めてきましたら、あつという間に定年になりました。家のことは妻に任せっぱなしでしたから、妻にはとても感謝しています。

◎ **Q** 若者へのメッセージは
◎ 先行き不透明な時代ですが、どんなことにも対応できるよう、将来を見据え、不測の事態にも対処できるように準備してください。

めおと人生

かめやま ひであき
亀山 秀明さん(75歳)
かおる
香さん(71歳) 高橋町



将来への人生設計を

◎ **Q** 若者へのメッセージは
◎ 先行き不透明な時代ですが、どんなことにも対応できるよう、将来を見据え、不測の事態にも対処できるように準備してください。

◎ **Q** 結婚何年目ですか
◎ 昭和38年に結婚し、今年で49年目です。
◎ **Q** これまでで印象に残っている出来事は
◎ 夢中で勤めてきましたら、あつという間に定年になりました。家のことは妻に任せっぱなしでしたから、妻にはとても感謝しています。

と連携しながら、若い人たちの縁を取り持つ手助けをしたいです。
◎ **Q** 日本舞踊を嗜んでいますが、今後も稽古をつみつつ、老人施設の慰問なども行っていきたいです。



今回の表紙 「さの秀郷まつり」 8月10日(金)～12日(日)開催

今年は10年ぶりとなる前夜祭を含め、3日間、さの秀郷まつりが開催されました。最終日の12日(日)には10基のみこしと4基のおはやしの巡行が行われ、勇壮な掛け声や賑やかな音楽とともに佐野駅周辺を練りまわりました。

あおきゆきお
青木行雄さん
(葦川町)



○プロフィール
57歳。
こども自然塾代表の
ほか、地元小学校の
見回り活動や、少年
指導員などを務める。
将来を担う子どもた
ちの活動・安全を見
守り続けている。



**遊びから見える子ども
たちの可能性**

私が青木さんと逢うため、初めて「こども自然塾」を訪れた際、一番最初に目に飛び込んできたのは、山の斜面に作られたアスレチックの中で飛び回り、はしゃぎ回る、子どもたちの姿でした。また、私の姿を見るや一斉に子どもたちから「こんにちは」の挨拶。子どもたちの運動不足やコミュニケーション不足と言われている中、そのようなイメージを吹き飛ばす光景でした。青木さんが代表を務める「こども自然塾」では、ゲーム機の持ち込みを禁止し、自然の遊びにとけこみ、楽しむことはもちろん、日頃からの挨拶や遊びのマナーも学ばせています。

自然塾の
体験として
約30種類あ
るアスレ
チックをは
じめ、農業
体験、魚釣
りなどで遊



▲アスレチックで遊ぶ子どもたち

私が青木さんと逢うため、初めて「こども自然塾」を訪れた際、一番最初に目に飛び込んできたのは、山の斜面に作られたアスレチックの中で飛び回り、はしゃぎ回る、子どもたちの姿でした。また、私の姿を見るや一斉に子どもたちから「こんにちは」の挨拶。子どもたちの運動不足やコミュニケーション不足と言われている中、そのようなイメージを吹き飛ばす光景でした。青木さんが代表を務める「こども自然塾」では、ゲーム機の持ち込みを禁止し、自然の遊びにとけこみ、楽しむことはもちろん、日頃からの挨拶や遊びのマナーも学ばせています。

昨日5月にオープンし、現在の来場者は1万6百人に達しています。市内をはじめ、県内、県外からの来場者もたくさんいます。

自然塾の体験として約30種類あるアスレチックをはじめ、農業体験、魚釣りなどで遊ぶ子どもたちから学ばされる

青木さんは、これからも遊びを通して将来を担う子どもたちの可能性を引き出し続けます。

(市民記者 飯田瞬)

**市長からの
メッセー**



本日『まんが田中正造〜渡良瀬に生きる〜』が発刊されました。この漫画は、正造翁の没後百年顕彰事業の一環として、翁の偉業を多くの方に広めることを趣旨として製作しました。原作・水樹涼子さん、制作・文星芸術大学、発行元・下野新聞社で1万部発刊しましたので、児童生徒をはじめ市民の皆さんにぜひ読んでいただきたいと思ひます。

また、来年10月の没後百年記念演劇公演では、市民劇団である「さの演劇塾」を中心に、広く公募による市民参加を求め、市民による演劇にしたいと考えています。皆さんのご応募をよろしくお願ひします。

7月・8月は、たぬまふるさと祭り、さの秀郷まつり、くずう原人まつりをはじめ三叡山大文字焼きや各町内の納涼祭などが、地域の特色をいかして盛大に開催されました。さの秀郷まつりでは、前夜祭で5人のミス日本や子どもたち、キャラクター、佐野女子高・佐野東高生徒によるファッションショーと「ダイヤモンドユカイ」さんのライブが行われ、特に盛り上がりました。ご協力いただいた方々に心から感謝申し上げます。

また、各支部体育祭が、先月19日に多くの地区で開催されました。9月の市民体育祭をはじめ、これから秋に向け各種スポーツ大会が開かれますが、何といつても健康が第一です。1人1スポーツを目標に、心と体を鍛えましょう。ラジオ体操もお勧めです。

これから台風シーズンが来ます。災害に備え、ハザードマップなどを見ていただき、土砂災害、河川氾濫などに十分な注意を払ってください。

岡部正英